

# 易観国際 中国 IT マンスリーニュース

2015年9・10月



## 目次

第三者決済サービス、第2四半期の取引額が3兆元突破.....	2
モバイル決済の取引高3兆元突破.....	2
モバイル決済、初めてインターネット決済の取引高上回る.....	3
検索市場の大勢変わらず、百度がシェア70%以上.....	4
相乗りサービスアプリ、滴滴順風車がシェア6割超.....	4
鉄道切符の予約アプリ、鉄道会社の公式アプリが圧勝.....	5
中古車のネット取引、前年同期比139%増と好調.....	5
世紀佳縁：第2四半期の売上1.8億元.....	7
写真共有SNSの利用広がる.....	8

易観国際 中国 IT マンスリーニュースは易観国際のアナリストによる中国のIT業界に関するレポートを日本語化して配信しています。易観国際は中国におけるIT業界の最大規模の専門家チームとして、多くの中国企業・外資企業のコンサルティングや調査プロジェクトに携わっており、中国のIT動向について幅広く研究・分析を続けています。クララオンラインは日本における易観国際の独占的なパートナーとして、日本語での最新の中国の情報をご提供し、皆様の中国における活動をサポートします。

- 本レポートは、易観国際及び易観国際グループ各社(以下「易観国際」といいます)発行のニュースを、易観国際からの許諾に基づき、易観国際の日本における独占的な総代理店である株式会社クララオンライン(以下「クララオンライン」といいます)が日本語に翻訳したものです。本レポートに掲載された内容は発行時における易観国際の見解や予測を紹介するもので、予告なしに変更することがあります。易観国際及びクララオンラインはここに記載された情報が十分信頼に足るものと考えていますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 日本語版の本レポートのいかなる部分についても、クララオンラインの書面による事前の了解なく複製、再生、再発行、販売、配布、送信、回付、修正、表示したり、またいかなる目的でも使用したりすることはできません。これには二次的著作物を作成する際に本レポートを利用する場合も含まれますが、これに限定されるものではありません。クララオンラインの許可を事前に申請する際には <https://www.eguan.jp/contact> からご連絡ください。
- 本レポートでは中国とは中華人民共和国を指しており、台湾、香港特別行政区、マカオ特別行政区は含んでいません。
- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンラインコンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします

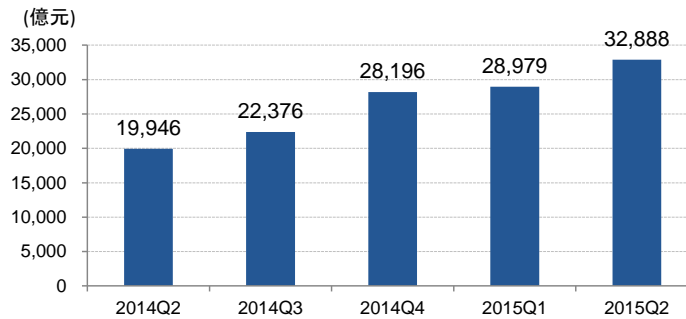
本レポートはクララオンラインコンサルティングサービスチームにより翻訳されたものです。クララオンラインの中国インターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0777

## 第三者決済サービス、第2四半期の取引額が3兆元突破

易観智库がこのほど発表した「2015年第2四半期(4-6月)中国第三者決済市場季度監測報告」によれば、同期間中のインターネットを通じた第三者決済サービスの取引高は3兆2888億4000万元で、前期に比べ13.49%増加した。

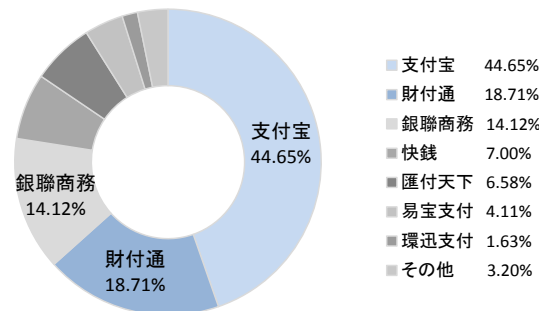
2014Q2-2015Q2 第三者決済インターネット取引高



Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn](http://www.eguan.cn) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

取引高からみたサービス別のシェアは支付宝が44.65%、財付通が18.71%、銀聯商務が14.12%で、上位の顔ぶれは変わっていない。

15Q2 第三者決済サービスインターネット取引高シェア



Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn](http://www.eguan.cn) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

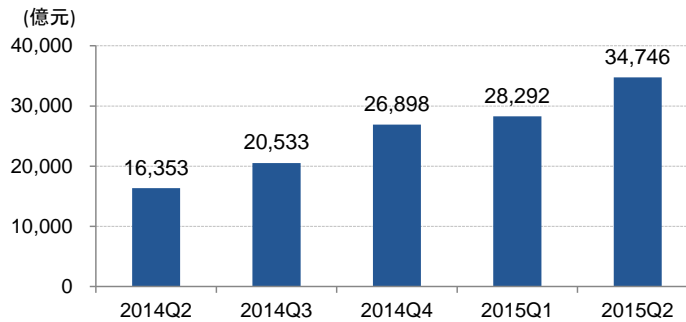
易観智库の分析によれば、中国では5月末から1カ月に渡って「618セール」が開催されたことから、第三者決済サービスの利用が増加した。さらにインターネット金融財テク商品の販売が好調に推移したことも取引高の増加を後押ししたようだ。また第三者決済サービス事業者が次々と巨大小売りチェーンとの提携を進めており、ある分野に特化した専門ECや旅行予約サービスとの提携で差別化をおこなっている。

## モバイル決済の取引高3兆元突破

易観智库がこのほど発表した「2015年第2四半期(4-6月)中国モバイル第三者決済市場季度監測報告」によれば、同期間中のモバイル決済の総取引高は前期比22.81%増の3兆4746億元だった。

易観智库の分析によれば、今季の取引高が急増した理由はEC市場が好調だったためで、6月18日に京東や蘇寧が行ったセールが追い風となった。またオフラインではタクシーやバスの運賃をモバイル決済で支払う習慣がユーザーに浸透したことも大きかった。

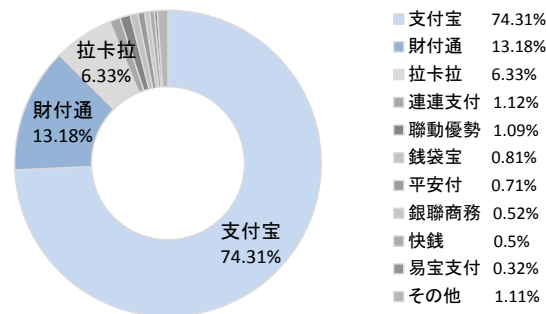
### 2014Q2-2015Q2 モバイル第三者決済市場取引高



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

また取引高などを総合的に判断した市場シェアは、支付宝が74.31%と最も大きく、続いて微信支付や手Q等を含む財付通が13.18%、拉卡拉が6.33%だった。

### 15Q2 中国モバイル第三者決済市場シェア



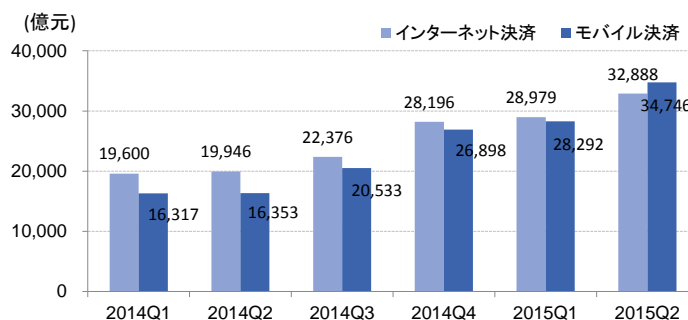
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

支付宝はスーパーの開拓に余念がなく、家乐福(カルフル)、沃尔玛(ウォルマート)といった大手スーパーと次々に提携している。一方の微信は実店舗との提携を強化しており、毎週火曜日は「微信決済の日」としてクーポン券を配布して、提携するファミリーマートやセブンイレブンといったコンビニでの利用を促す取り組みを行っている。

## モバイル決済、初めてインターネット決済の取引高を上回る

易観智库がこのほど発表した「2015年第2四半期(4-6月)中国モバイル第三者決済市場季度監測」で、モバイル決済が初めてインターネット決済の取引高を上回ったことがわかった。

### 2014Q1-2015Q2 決済手段別総取引高の推移



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

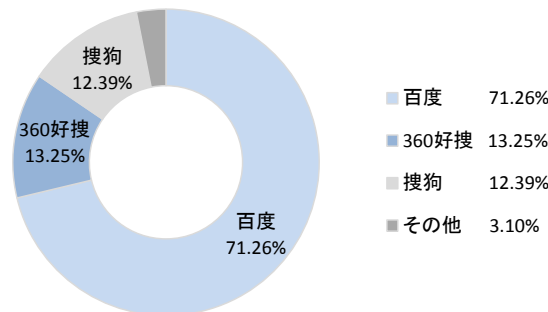
同期間中のモバイル決済の総取引高は 3 兆 4746 億元で、インターネット決済市場の総取引高は 3 兆 2888 億元だった。

易観智库の分析によれば、モバイル決済が急増した背景には、スマートフォンの更なる普及がある。2012 年の中国のスマートフォン販売台数は 1.76 億台だったが、2014 年は前年比 22.7%増の 4.2 億台に達している。またモバイル決済にまつわる技術革新も続いており、セキュリティが強化されたこともユーザーの利用増加につながった。O2O 市場の成長がモバイル決済の利用シーンを増やしたことも大きな追い風となっており、オフラインの店舗がクーポン券の配布などを通じて消費者を呼び込んだことで、2014 年の O2O 市場規模は同 78.4%増の 2480.1 億元に膨らんでいる。

## 検索市場の大勢変わらず、百度がシェア 70%以上

易観智库のまとめによれば、2015 年 8 月に最も利用された検索サイトは百度 (Baidu) で、アクセス総数からみた市場シェアは 71.26%だった。2 位は 360 好搜で 13.25%、3 位は搜狗で 12.39%だった。

2015年8月 中国検索エンジン アクセス数シェア



Source: Enfodesk, Analysys International - [www.eguan.cn](http://www.eguan.cn) / [www.enfodesk.com](http://www.enfodesk.com)

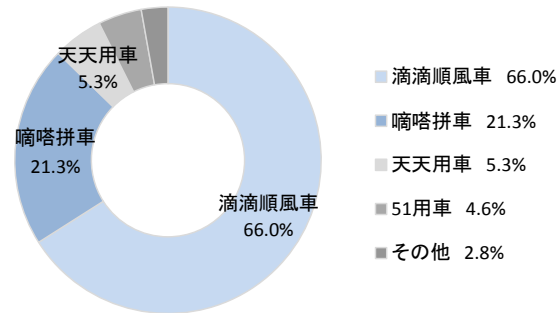
易観智库の分析によれば、今年 8 月の検索サイトへのアクセス状況は引き続き安定しており、百度が市場をけん引する構造に変化はなかった。各社はモバイルインターネットや O2O サービス、生活サービスとの提携を深めることで、ユーザーのリピート率を上げている。特に百度は、ビッグデータの活用を急いでおり、8 月には音声検索や画像検索、自然言語理解といった人工知能サービスに大規模な投資を行っている。

## 相乗りサービスアプリ、滴滴順風車がシェア 6 割超

易観智库がこのほど発表したデータによれば、2015 年 7 月の相乗りサービスアプリ市場のトップ 3 は、滴滴順風車、嘀嗒拼車、天天用車で、利用回数からみたそれぞれの市場シェアは 66.0%、21.3%、5.3%だった。

サービス提供都市数は、滴滴順風車が 338 都市と最も多かった。続いて 51 用車の 100 都市、天天用車の 52 都市となっている。中国の相乗りサービスは 2014 年に誕生してから急速に成長した。参入ハードルの低さから多くの企業がサービスを始めたが、資金繰りが原因で次々と消えていき、今では滴滴順風車が圧倒的な市場シェアを持つ。

2015年7月 中国相乗りサービス市場シェア(利用回数)



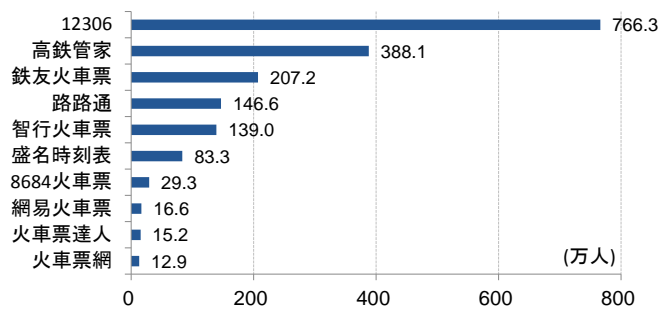
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

滴滴顺风车はタクシー配車サービス「滴滴快的」から生まれたサービスで、滴滴快的の持つ大量のユーザーが支えとなっている。51 用车と天天用车は百度 (Baidu) からそれぞれ投資を受けていたが、百度はその後独自の相乗りサービスアプリ「百度顺风车」をリリースしており、今後の市場シェア奪取が注目されている。

鉄道切符の予約アプリ、鉄道会社の公式アプリが圧勝

易観智库がこのほど発表した「2015 年中国オンライン列車切符予約市場研究報告」によれば、2015 年 7 月の主要なオンライン列車切符予約アプリのアクティブユーザー数は、鉄道総会社の公式アプリ 12306 が 766.3 万人で 2 位を大きく引き離してトップとなった。2 位は高鉄管家の 388.1 万人で、ユーザー 1 人当たりの 1 日のアクセス時間は 6.39 分で最も多かった。

2015年7月主要オンライン列車切符予約アプリのアクティブユーザー数



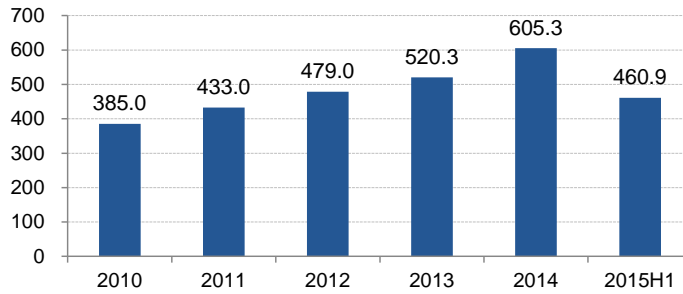
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

2014 年の鉄道旅客数は 23.57 億人で、航空旅客数の 3.92 億人を大きく上回る。2015 年上半期(1-6 月)はすでに 11.97 億人に達しており、オンラインでの列車切符予約には巨大なニーズがある。

中古車のネット取引、前年同期比 139%増と好調

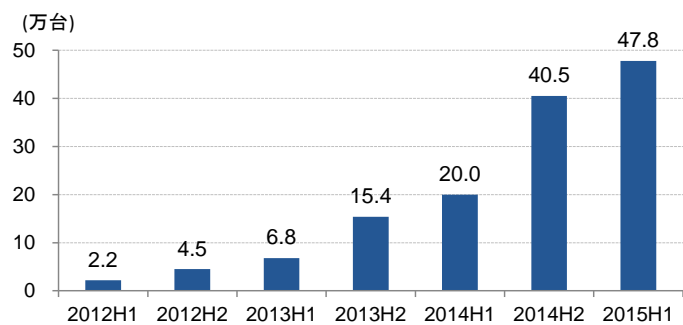
易観智库がこのほど発表した「2015 年上半期(1-6 月)中国中古車ネット販売市場研究報告」によれば、同期間中の中古車の総取引台数は 460.9 万台で、このうち 47.8 万台がインターネットを通じた取引だった。

2012-2015H1 中国の中古車市場 総取引台数  
(万台)



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

2012-2015H1 中国の中古車ネット取引台数  
(万台)

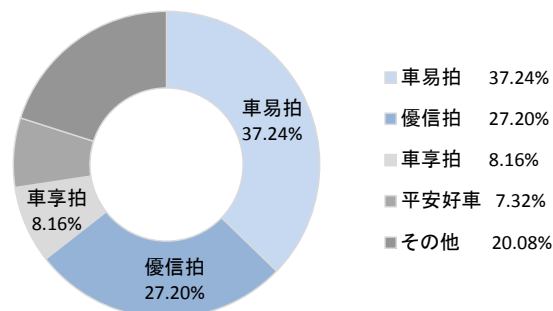


Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

報告書によれば、同期間中の中古車の総取引台数は前年同期比 5.79%増の 460.9 万台で、取引金額は同 0.57%増の 2698.08 億元だった。中古車市場全体の成長は緩やかだったが、ネット販売は好調な発展を続けており、インターネットを通じた取引台数は同 139%増の 47.8 万台に達した。

またネット販売プラットフォームの取引金額から見たシェアは、車易拍が 37.24%でトップとなり、2 位は優信拍が 27.20%、3 位は車享拍で 8.16%だった。

2015年上半期 中古車取引サイトのシェア (取引高別)



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

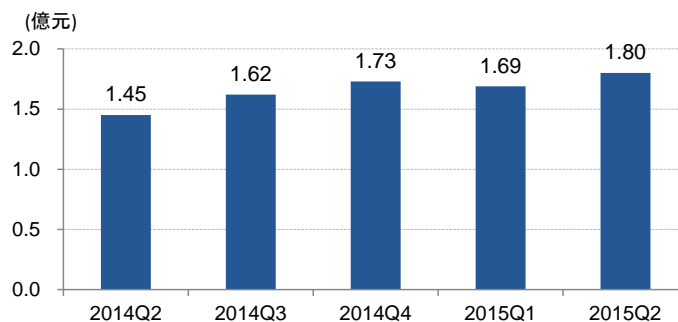
易観智库の分析によれば、今年上半期に数多くの新規事業者が参入したことから、市場シェアは今後大きく変化しそうだ。現在はトップ3だけで7割ほどのシェアを持つが、徐々にシェアが分散することが予想される。

また先進国では予算上の制限から中古車を検討する機会が多いが、中国では購入希望者の75%以上が予算は十分にあり、運転に慣れるという目的からあえて中古車を選んでいるという違いがある。しかし中古車のコストパフォーマンスの良さを理解して購入している人は20%以下とみられ、中古車市場の成熟にはまだ3年から5年がかかることが予想される。

## 世紀佳縁：第2四半期の売上1.8億元

結婚情報サービスの世紀佳縁はこのほど、2015年第2四半期(4-6月)の財務報告を発表した。同期間中の売上は1.8億元で、前期に比べ6.3%、前年同期に比べ24.0%それぞれ増加した。

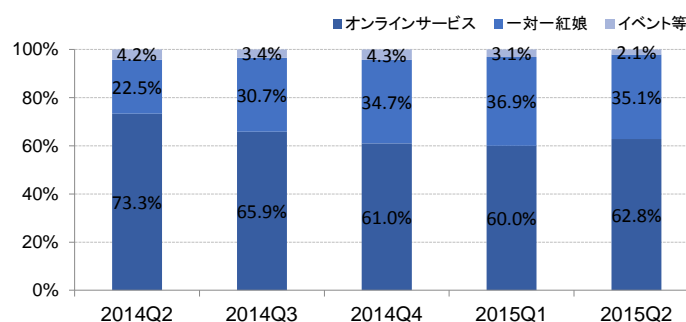
14Q2-15Q2 世紀佳縁の売上高



Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

事業別では、4四半期連続で落ち込んでいたオンラインサービスの売上がようやく改善し、売上全体の62.8%を占めた。グループ傘下の対一紅娘の売上は35.1%、オフラインでのイベントなどの売上が2.1%となった。オンラインサービスの有料会員数は毎月平均148.8万人おり、会費による収入は前期に比べ14.8%、前年同期に比べ7.1%増えて24.1億元に上った。

2014Q2-2015Q2 世紀佳縁の売上構成



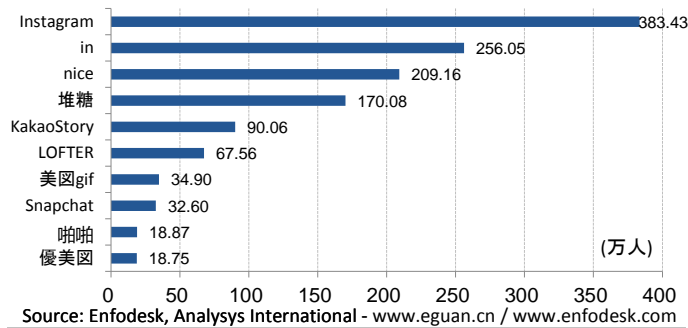
Source: Enfodesk, Analysys International - www.eguan.cn / www.enfodesk.com

同社の対一紅娘のサービスセンターは今期新たに4カ所増え、新たに2都市に進出した。2016年までに全国への展開を計画している。

## 写真共有 SNS の利用広がる

2015年8月時点の中国における写真共有 SNS のアクティブユーザー数は、Instagram が 383.43 万人でトップだった。続いて in が 256.05 万人、nice が 209.16 万人だった。

2015年8月 中国の写真共有SNSアクティブユーザー数



Instagram は先日、世界のユーザー総数が 4 億人を突破し、新規ユーザーの大部分はアジアおよび欧州からであることを明らかにしている。

一方の中国では、Instagram を真似した写真共有 SNS があつという間に広まり、中国版 Instagram と呼ばれるサービスの in は、リリースからわずか 8 カ月で登録ユーザー数が 2000 万人を突破、1 年で 3200 万人が利用するまでになった。特に女性をターゲットにしており、共有機能や落書き機能といった女性ユーザーが好む機能が充実しているという特徴がある。

中国のモバイル SNS 市場の成長は鈍化しているが、写真共有 SNS はすでに一定のユーザー規模と市場価値を生み出して好調な発展を続けている。いかに写真コンテンツの価値を上げ、新規ユーザーの獲得と既存ユーザーのアクティブ率を高められるかが成長のカギを握ると言えそうだ。